

だれもが充実したいのちを燃やして生きることができるよう!

私たちは地域・職域・学校など、
生活のいろいろな場面で
「健康寿命」をのばす運動を
実践しています。

よぼう医学

THE NEWS OF HEALTH SERVICE

2009(平成21)年10月15日 第435号

(財)東京都予防医学協会
(財)予防医学事業中央会東京都支部
発行人 北川照男・編集人 山内邦昭
発行所 〒162-8402
東京都新宿区市谷砂土原町1-2
保健会館 電話 03-3269-1131
http://www.yobouigaku-tokyo.or.jp
毎月15日発行 年間購読料300円(1部30円)



● 今月の主な紙面 ●

- (1面) ● がん検診の現況と将来
第50回 日本人間ドック学会シンポジウムより
- (2・3面(見開き))
 - 連載 どう読む? 健康情報 第4回
 - 話題 低用量経口避妊薬(ピル)発売から10年
 - 連載 健康づくり・健康増進を支援するページ
保健指導シリーズ 第17回: 医師/保健師/
管理栄養士/健康運動指導士のコラム
- (4面) ● がん啓発サポートキャンペーン
リレー・フォー・ライフ・ジャパン2009インさいたま
 - 第27回 全国情報統計研修会が開催
 - 全国労働衛生週間(10月1日から7日)
 - 産業保健フォーラムが開催
 - お知らせ

がん検診の現況と将来

第50回 日本人間ドック学会シンポジウムより

高次元で有効な検診手法で 受診者のニーズにこたえる

学会のシンポジウム「がん検診の現況と将来」(座長 三原修 日本赤十字社熊本健康管理センター副所長、杉森裕樹 大東文化大学教授)では、5つのがん検診について、各分野の専門家が講演した(写真)。

最初に、基調講演で座長の三原副所長は、「がんの発見数は年々増加しており、人間ドックのがん検診としての役割は決して小さくない。より精度の高いがん検診を提供し、多くの命を救うことは、



われわれに課せられた責務である」と述べた。

続いて、胃がん検診について講演した川崎医科大学の井上和彦准教授は、松江赤十字病院での18年間にわたる内視鏡検査の成績から、「国のガイドラインでは胃部X線検査のみが推奨されているが、上部内視鏡検査は胃がんの早期発見およびその後のQOLの維持に役立っていると思われる」と述べ、内視鏡検査と血清ペプシノーゲン法、ヘリコバクターピロリ抗体検査を用いた

胃の「健康度」評価をもとに、「血液検査を基盤とした胃健(検)診」のシステムについて説明した。

大腸がん検査の効率的な間隔は5年程度と考えられる」と述べた上

で、CT検査を用いた新しい大腸の検査法が確立しつつあることを紹介した。

乳がん検診について講演した博愛会病院の渡邊良二副院長は、「わが国の乳がんの罹患者

数と死亡者数は年々増加傾向にあるが、早期に発見されれば、10年生存率は高く、乳房温存手術が施行できる可能性も高くなる」として、指触診にマンモグラフィ(MMG)を併用した検診を2年に1回受けることが推奨されていると述べた。

さらに渡邊副院長は、乳房の発達した高濃度乳房ではMMGによる乳がんの検出率が低いことから、これを補う検査として超音波検査に期待がかかっていると、現在、その有効性を検証する研究(J-S TART)が行われていることを紹介した。

がん検診は、対策型検診と任意型検診に分類される。集団検診は前者で、がん死亡率の減少を目的に、死亡率減少効果が認められた検診手法で行われる。一方、人間ドックは後者であり、対象は集団ではなく個人である。人間ドックでは集団検診よりも精度の高い検査が期待されており、そのニーズに沿った、より高次元の検診手法が必要とされている。9月3日、4日の両日にわたり、都内のホテルで開催された第50回日本人間ドック学会学術大会(大会長 山門實三 井記念病院総務健診センター所長)では、がん検診の現状および人間ドックにおける理想的ながん検診のあり方と将来展望をテーマにシンポジウムが開催され、各分野の専門家が講演した。

大腸がん検診について講演した大腸肛門病センター高野病院の野崎良一副院長は、全大腸内視鏡検査とS状結腸内視鏡検査、免疫的便潜血検査2日法を組み合わせた4通りの検診から、「免疫的便潜血検査だけでは約半数の大腸が

肺がん検診について講演した国立がんセンター中央病院の金子昌弘部長は、本会が運営する会員制肺がん検診組織「東京から肺がんをなくす会」の成績をもとに次のように述べた。

「現時点では低線量ヘリカルCTを使用した肺がん検診の死亡率減少効果は確認されていないが、CTは単純写真と比べて濃度分解能が高く、盲点が少ないことから、発見精度が高く、早期例が多い。

また、肺がん以外にも肺気腫などの呼吸器疾患、大動脈瘤などの循環器疾患、骨粗鬆症や内臓脂肪の診断も容易になる他、CT画像を示しながらの禁煙指導や栄養指導では目標達成度が高いとの報告も

あり、総合的な評価が必要。前立腺がん検診について講演した群馬大学大学院の伊藤一人准教授は、「わが国ではPSA検診の普及率が低く、このため前立腺がんの早期発見が困難となっている。一方、前立腺がんの罹患率は年々増加し続けており、2020年には肺がんや大腸がんと並ぶことが予測されている」と指摘した。

伊藤准教授はその上で、「現在欧州で行われている前立腺がんの無作為比較試験(ERSPC)で前立腺がんの死亡率が20%減少することが判明したことにより、今後はPSA検診の一層の普及拡大が期待される。しかし、すべてのがん検診には必ず利益と不利益が存在するので、有効性が証明されたがん検診であっても、過剰診断、過剰治療などによる不利益の現状について、正しく受診者に説明した上で行うことが重要である」と述べた。

さらに渡邊副院長は、乳房の発達した高濃度乳房ではMMGによる乳がんの検出率が低いことから、これを補う検査として超音波検査に期待がかかっていると、現在、その有効性を検証する研究(J-S TART)が行われていることを紹介した。



最後に、特別発言した座長の杉森教授は、「近年、欧米では、患者が医学知識を上手に利用するスキルとして『ヘルスリテラシー』が注目されている。がん検診が効果的に発展していくためには、受診者のヘルスリテラシーの向上や受診者と医療職との適切な対話(ヘルスコミュニケーション)のあり方についても積極的に取り組んでいくことが必要である」と強調した。

学会ではこの他、特別講演として「久山町研究」と「NIPPON DATA」と、シンポジウム「特定健康診査、特定保健指導の検証」やワークショップ「テラーモードの人間ドック健診を目指して」などが行われた。

個人情報の取扱いについて

日頃より、東京都予防医学協会の機関紙「よぼう医学」をご愛読くださりありがとうございます。本会では、現在「よぼう医学」を送付させていただいている皆様について、送付に必要な情報(名前、住所、所属、役職など)を送付名簿として保持しております。これらの個人情報の収集、保存、利用につきましては、本会の個人情報保護方針に基づき、厳重な管理のもとに運用しております。その上で今後も継続して送らせていただきたいと思います。送付名簿から削除を希望される場合には、お手数ですが、広報室(電話03-3269-1131)までご連絡ください。

健康管理相談をお引き受けします

当センターの会員が事業所、学校、各種団体の健康管理をアドバイスいたします。

担当: 江幡良晴 三輪祐一

健康管理コンサルタントセンター
事務局 東京都新宿区市谷砂土原町1-2
(財)東京都予防医学協会
電話 03-3269-1141

お問い合わせ・ご相談は事務局まで(予約制)

送付先の変更・中止について

送付先の住所変更・購読中止の場合には、変更内容を明記の上、本会広報室までお知らせください。

Eメール
thsa-koho@msj.biglobe.ne.jp
FAX 03-3269-7562

お電話(03-3269-1131)でも承っております。



どう読む? 健康情報

中山 健夫 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻 健康情報学分野教授

例えは、こんな話があった。 一般論に広げる時には正しい考... 「胃がんの原因となる食物...」

症例報告の落とし穴

この結果から、米は胃がんの原因といえるでしょうか... 患者さんに「雨にぬれながら遊んだので風邪をひいた」と聞けば、この意が必要なのは、「対照群...」



低用量経口避妊薬「ピル」発売から10年

北村邦夫 日本家族計画協会常務理事、クリニック所長

安全で信頼性の高い避妊法として世界で約1億人が服用している低用量経口避妊薬(ピル)が... 米国の避妊薬は約40年低「副作用心配」少子化が...

Table with columns: 服用経験あり, 服用経験なし, 相対危険度 (95% 信頼区間). Rows: 乳がん, 子宮頸部浸潤がん, 子宮体がん, 卵巣がん, 主要婦人科がん, 何らかの単一がん.

とほできないので 食料食を... がんの患者さんへの推論を... 「対照群」です...

保健指導シリーズ ⑬

健康づくり・健康増進を支援するページ

医師のコラム

感情労働から全人格労働へ



阿部 眞雄

産業医を始めた25年前、筋を追いかけたように... 感情労働を減らし、健康増進を推進する...

保健師のコラム

「受診したくない」その心は



櫻田 陽子

今回は、健康診断で血糖値が高くなる人が多いことについて... 「受診したくない」その心は...

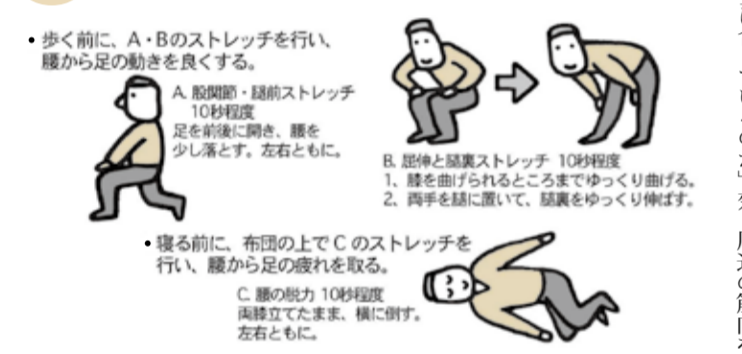
健康運動指導士のコラム 運動を続けるためのヒント

グループ指導編



吉田 重美

今回は、日常に取り入れる運動を続けるためのヒント... 30分早歩きをしても疲れにくいからだを作るには?



健康支援サービス

「百聞は一見に如かず」編 実食集団指導②... テーマに合わせて、実際の昼食を摂りながら行... 栄養管理士の指導...

がん征圧の願いを新たに きずな深める「命のリレー」

がん啓発サポートキャンペーン リレーフォーライフジャパン2009インさいたま

サレー・フォー・ライフ・ジャパン2009インさいたま(主催 日本対がん協会)リレー・フォー・ライフさいたま実行委員会)が、9月12日、13日の2日間にわたって、埼玉・農業者トレーニングセンター緑の広場で開催された。リレー・フォーライフ(命のリレー)は、がん患者や家族、支援者が交代で24時間歩き続けながら、がん患者を励まし、がんを闘うための連帯感を深める市民主導の運動。対がん運動への理解を呼びかけ、募金活動も行っている。会場では、リレーウォークと並行して、さまざまな啓発イベントが企画され、約700人が参加した。

1985年に米国でスタートしたリレー・フォー・ライフは、単なる資金集めのイベントとしてではなく、地域社会全体でがんを闘うための連帯感を育む場として、現在では全米5千万人以上、世界でも20数カ国に広がる運動となっている。

日本では、06年に茨城県つくば市で開かれたのを皮切りに運動は広がり

をみせ、昨年は室蘭、横浜、芦屋、徳島、高知、大分、鹿児島で、今年も北海道から九州まで全国14カ所で開催される。リレー・フォー・ライフさいたま実行委員会では、「迷

わせない、困らせない、ひとりにさせない」のスローガンのもと、明日を生きる勇気と希望、がん啓発による早期発見、早期治療の重要性、対がん協会の活動への理解、寄付活動などを呼びかけている。リレー・フォー・ライフは12日午後1時、がんのサバイバー(がん患者や、がんを克服した人)たちによる「サバ

イバズウォーク」で幕を開けた。手形やメッセージをつづったフラッグを手にしたサバイバーたちは、がんと闘う人たちの勇気を称える声援や拍手を受けながら会場のトラックを一周。その後、家族、支援者も加わり、チームごとにフィナーレまでの一昼夜、たすきをつないだ。グラウンド脇ではリレーウォークと並行して、啓発ブ

目暮れからの「ルミナリエ」では、がんと闘っている人への思いや、がんで亡くなった人への追悼の気持ちを託したキャンドルがトラックを縁取る中、参加者はそれぞれの思いを胸に静かに歩き続けていた。



手形とメッセージをつづったフラッグを手に「サバイバズウォーク」(上) チームフラッグを掲げながらリレーウォーク(中左・下左) がんと闘っている人、がんで亡くなった人への思いが込められた「ルミナリエ」のキャンドル(中右) がんに関する講演(下右)

第27回全国情報統計研修会が開催

本会など予防医学事業中央会傘下の全国支部で、情報処理や統計実務に携わっている担当者85人が参加して、第27回全国情報統計研修会が8月27日、28日の両日、新潟県新潟市で開催された。

研修会初日のグループディスカッションでは、①情報処理担当者、②職域健康増進処理担当者、③施設(人間ドック等)健康増進処理担当者、④地域健康増進処理担当者、の4つのグループに分かれて討議が行われた。

健診・特定保健指導実施後の問題点や対応策について、②では、顧客満足度向上のための工夫について、③では、魅力ある結果報告書作成への取り組みについて、④では、地域における特定健診・特定保健指導の問題点や対応策についてをテーマに各支部の取り組みが紹介され、活発な意見交換が行われた。

2日目は、本会の原島隆史統計事務部長の進行で、グループディスカッションの討議内容が報告された。その後、神奈川支部の齋藤好子情報処理部長の進行で、テーマ「知っておきたい特定健診・特定保健指導のルール」が行われた。この討議では、新しい制度下での契約や請求処理方法について、各支部の成績書の処理担当者が問題点を報告、その改善策が検討された。

研修会ではこの他、特定健診・特定保健指導に関する神奈川支部の事例報告や中央会の西田幸一事業部長による情報提供「集約契約、代表保険者・契約代表者、請求・決済のルールについて」なども行われた。

全国労働衛生週間 10月1日から7日



わが国の昨年の業務上疾病による被災者は8874人

2005年以降増加している。また、職場の定期健康診断での有所見者の割合も増加を続けており、仕事や職業生活に強い不安、悩み、ストレスを感じる労働者も約6割に達している。

特に、メンタルヘルス疾患に関しては、長引く不況や雇用形態の多様化を背景に、今後もその増加が危惧されており、より一層の対策の強化が求められている。

このためには、企業や事業場のトップの強い決意とリーダーシップのもと、労働者、健康監督者、産業保健スタッフらが、それぞれの役割と責任を認識し、組織的かつ積極的に取り組んでいくことが重要である。

こうしたことから、10月1日から7日に実施された平成21年度全国労働衛生週間では、「トップが決意 みんながつくる心の健康・明るい職場」をスローガンに、労働者の健康の確保と快適な職場環境の形成を目指した取り組みが展開された。

産業保健 フォーラム が開催

東京労働局と東京労働基準協会連合会、東京産業保健推進センターが主催する「産業保健フォーラム IN TOKYO 2009」が9月4日、東京千代田区の九段会館で開催された。

フォーラムでは、「メンタルヘルスと快適な職場環境をめざして」をテーマに、講演や活動事例発表、リフレッシュ体操などが行われた他、T H P体験コーナーや展示・資料コーナーも開設された。

お知らせ

第228回ヘルスケア研修会
11月25日(水)14時~16時
東京・永田町「星陵会館」

第228回ヘルスケア研修会が11月25日(水)14時から16時まで、東京永田町の「星陵会館」で開かれる。

「高血圧治療の新ガイドラインと保健指導」をテーマに、慶應義塾大学保健管理センターの齊藤都夫所長が講演する。司会は、松翁会診療所の江崎良晴所長。

会場の「星陵会館」は、地下鉄各線「永田町」「国会議事堂前」「溜池山王」「赤坂見附」駅下車、徒歩10分以内のところ。

Cardio Ankle Vascular Index
キャビイ
CAVI 検査が
機能アップして使いやすくなりました
さらに心電パッケージを追加することで、心電図検査も可能になります。

コンパクトカラー液晶
院内システム対応
R-R検査
心電パッケージ追加可能(オプション)

血圧脈波検査装置
VaSera™ VS-1500N
医療機器承認番号：21800BZX10162000

〒113-8483 東京都文京区本郷3-39-4 TEL (03) 3815-2121 (代) <http://www.fukuda.co.jp/>
お客様窓口 ☎ (03) 5802-6600 / 受付時間: 月~金曜日(祝祭日、休日を除く) 9:00~18:00
● 医療機器専門メーカー **フクダ電子株式会社**

